

マスコミとサイバーセキュリティ報道

NHK報道局 機動展開プロジェクト 蔵重龍
サイバーセキュリティシンポジウム道後2026
2月27日@松山大学

3つのテーマ + 2

- ①暗号資産がいかにデジタル犯罪と深く結びついているのか
- ②次々に現れるサイバー詐欺の新手口にはどんな対応が必要なのか
- ③ネット広告がいかに制御が困難でプラットフォーム規制が難しいか
 - ネットコミュニティの罪は
 - 情報影響工作・認知戦への備えは

おおまかな流れ

①暗号資産の闇

未解決事件「マウントゴックス 消えた470億円」など取材報告、ほか

②サイバー詐欺の新手口

クロ現「証券口座乗っ取り」など取材報告、ほか

③制御不能なネット広告

「性的広告」「フェイク広告」「子どもとSNS規制」など取材報告、ほか

●ネットコミュニティの罪は Nスペ「子どもを狙う盗撮・児童ポルノの闇」

●認知戦の危機への備え Nスペ「中国・流出文書を追う」

▼会場質問・やりとり

重要だと感じた最近のインシデントは？理由は？（担当記者）

- ・ アスクルのランサム事件→被害が物流・取引先・利用者に波及した。
- ・ KADOKAWAのランサム事件→企業の広報対応の姿勢が問われた。
- ・ 航空会社などDDoS攻撃→国家関与の攻撃への対応が問われた。
- ・ 一連の病院のランサム事件→インフラ被害、生命のリスク。
- ・ 生成AIの悪用の詐欺→真偽の見分けがつかない情報空間の汚染。

サイバーセキュリティの多様化で報道の多様化も重要に

AIの台頭・地政学的緊張・データ経済の拡大・サイバー攻撃の日常化・内部告発文化の拡張

取材・報道)

テーマ設定の多様化、フィールドの多様化、取材手法の多様化。オシント、データ報道。チャンネルの多層化。外部連携。メディア枠。子ども向け、高齢者向け。専門分野を超える、国境を超える、技術の垣根を超える。社の組織を超える。

テーマの多様化

- ① **犯罪報道型** ランサムウェア・フィッシング詐欺・SNS型投資詐欺
- ② **国家安全保障型** 重要インフラ攻撃・影響工作・選挙干渉・ハイブリッド戦
- ③ **経済安全保障型** データ主権・クラウド依存・サプライチェーン
- ④ **社会問題型** 性的ディープフェイク 子どもとSNS 摂食障害・炎上・いじめ
- ⑤ **テクノロジー構造・メディア** ゼロクリック問題・AIスロップ・ゼロトラスト

横断的な取材を（NHKでは）

サイバーセキュリティやITの担当だけではなく政治部・経済部・社会部・科学部・文化部などの横断テーマに。

横断的な取材チーム「サイバーAIメディア取材チーム」

テレビをオワコンにしない 公共メディア インパクトコンテンツの発信

課題解決 部局の縦割りを打破

事務局）報道局 機動展開プロジェクト

政治部・経済部・国際部・社会部・科学文化部からデスク、記者、ディレクター、プロデューサーも。フェイク対策、デジタル調査報道。

デジタルを深掘りするニュースコーナーサタデーニュースウオッチ9「デジボリ」

「デジタルの光と闇」を追う（25年度）

AIをはじめとするデジタルテクノロジーの開発と普及が、私たちの暮らしや雇用、メディアや行政、選挙など社会システム自体を根本的に変え、一方で、人間としての権利や尊厳が脅かされようとしている。サイバー空間ではデジタル犯罪が深刻化、SNSの偽情報や誤情報は、民主主義を大きく揺るがしている。国家を背景としたサイバー攻撃、連日のように発生するシステム障害や企業の情報漏洩は、日本社会のぜい弱性が見られる形で起きており、「デジタル災害」と呼ぶべき新たな公共リスクとなっている。人類の知性をしのぐ「汎用人工知能」の誕生も近いとも叫ばれる中、デジタルテクノロジーとどう向き合い、共存していけばいいのか。さまよいつつ進化するデジタル社会の可能性と課題を深掘りし、現状と課題を多面的に伝える。（デジタル社会の羅針盤を目指す）



サタデー
ニュースウォッチ9
毎週 土曜午後9時





フェイク 対策

Sora

リアルとフェイクが液状化

AI動画

泥を掴み 泥を嚼む



ネット広告の闇

クローズアップ現代 これまでの放送内容



“偽の広告”で被害拡大 どうする
「SNS型投資詐欺」

▶ 詳しくはこちら



知らないうちに損してる!? ネット
ショッピングの“落とし穴”

▶ 詳しくはこちら



あの商品、本当にNo.1? 氾濫す
る“No.1広告”のカラクリ

▶ 詳しくはこちら



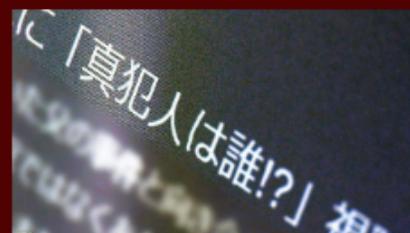
追跡! オンラインサロン コロナ
禍でハマる人たち

▶ 詳しくはこちら



新型コロナウイルスで被害拡大 追跡!
ネット通販の闇

▶ 詳しくはこちら



新型ウイルスでもネットに拡散
追跡! トレンドブログ

▶ 詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



エステ広告 満足度第1位は「根拠なし」消費者庁が処分

詳しくはこちら



突然「クチコミ」低評価が大量になぜ青森の店が？

詳しくはこちら



No.1広告 どうする どうなる

詳しくはこちら



信じてますか No.1

詳しくはこちら



コロナ禍で急増！オンラインサロンにハマる人たち

詳しくはこちら



オンラインサロンでのトラブル注意

詳しくはこちら



気象庁 ホームページの民間広告 1日で掲載停止に

詳しくはこちら



気象庁ホームページに不適切広告 掲載開始当日から

詳しくはこちら



ヤフー 掲載認めない広告表現や画像の数 初公表 昨年度2億件超

詳しくはこちら



その広告 行き過ぎていませんか？

詳しくはこちら

クロ現「ネット広告の闇シリーズ」

- ▼「追跡！脅威の“海賊版”漫画サイト」2018年4月 漫画村の著作権侵害と裏広告の存在
- ▼「追跡！ネット広告の闇」2018年9月 アドフラウド・アドテクノロジー
- ▼「追跡！“フェイク”ネット広告の闇」2019年1月 フェイク広告・アフィリエイト・情報商材
- ▼「追跡！ネット広告の闇 水増しインフルエンサー」2019年5月 ステマ・フォロワー売買
- ▼「追跡！ネット通販 やらせレビュー」2019年10月 アマゾンのやらせレビュー
- ▼「追跡！謎の現金プレゼント アカウント売買」2020年3月 プレゼント企画～かもリスト売買

- ▼「追跡！トレンドブログ」2020年 3月 粗悪サイトの人権侵害とSEOハイジャック
- ▼「追跡！ネット通販の闇」2020年 7月 危険な商品を取り扱うプラットフォームの責任

クロ現「ネット広告の闇シリーズ」

▼「追跡！オンラインサロン」2021年 3月 プチ宗教・詐欺商法の舞台になるサロンの実態

▼「氾濫するNO.1広告のカラクリ」2022年 5月 恣意的なデータ操作・ポイ活アンケート

▼「“偽の広告”で被害拡大 どうする「SNS型投資詐欺」」2024年4月

→犯罪集団がターゲティングで高齢者をだまそうと。画像や音声フェイクAI技術を悪用していた。

▼「知らないうちに損してる！？ネットショッピングの落とし穴」2024年4月→ダークパターン

▼「あなたの口座が乗っ取られる!? パスワード流出の実態」2025年5月

→証券口座乗っ取り。世界から日本が狙われAIが悪用されている実態を追跡。

ログインID

ログインパスワード



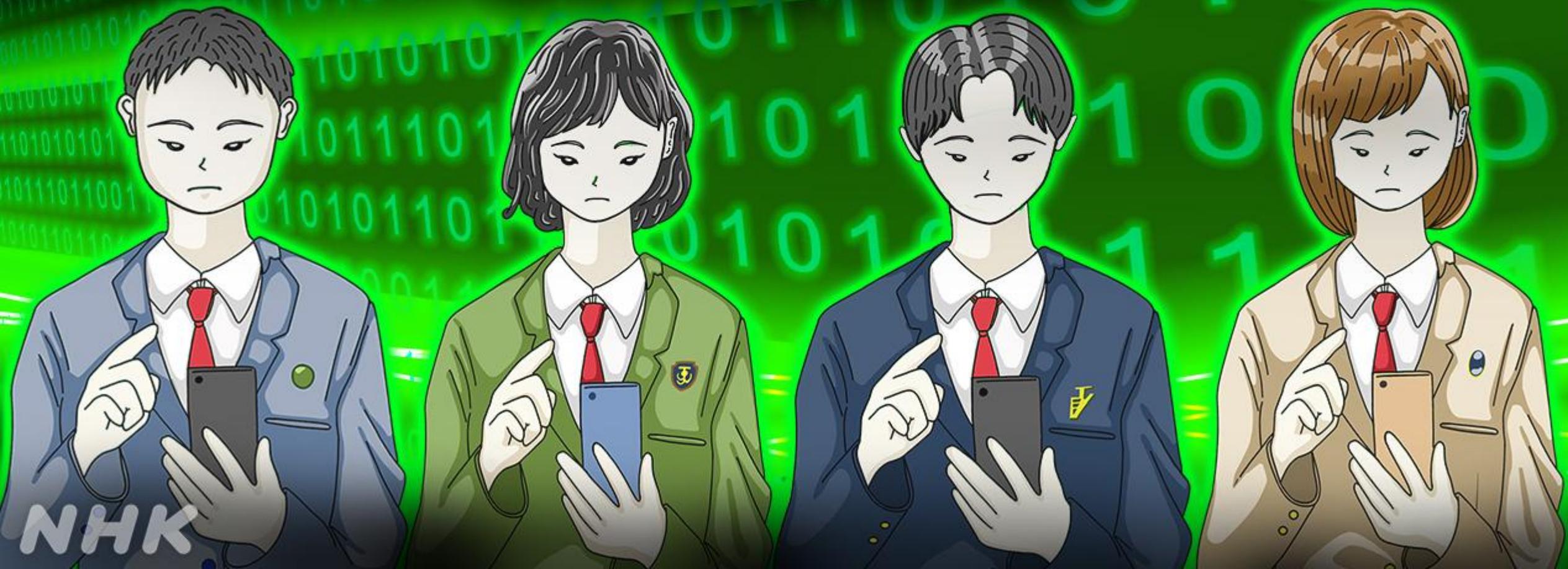
ログインパスワードを表示

ログイン

パスワード流出 資産が消える

デジタルクライシス

子どもたちに迫る闇





クイズアプリ 1位 アップ 現代

脱がせる
あなたの友達

AIで裸にされる?!

人を脱がせることを楽しむ

せどり

“SNS禁止”



調査報道 新世紀

File3

子どもを狙う
盗撮・児童ポルノの闇

NHKスペシャル

・SNSに巨大な盗撮コミュニティが多数存在。数千人規模のグループも。愛好家になりすましたアカウントを作り、コミュニティへの潜入取材で実態を明らかに

・コミュニティ内での“仲間意識”や承認欲求が、加害、犯罪行為をエスカレートさせている側面が見えてきた。オフ会に参加することで裏付け。

・市民団体と協業し潜入、閉鎖や逮捕にも寄与



児童ポルノや盗撮、性的画像.....子どもを性的に搾取する“SNSコミュニティ”の闇 潜入取材 | NHKニュース

調査報道 新世紀

アプリを購入ま

File3

なぜ野放し?

“ビジネス化”する 児童ポルノ



All

写真や

William Lea

iPhone対応

「写真／ビデオ」内182位

★★★★★ 2.1・612件の評価

無料・アプリ内課金があります

[こちらで表示: Mac App Store](#)

NHK **スペシャル**

NHKスペシャル「子どもを狙う 盗撮・児童ポルノの闇」 (前編・後編) 2025年6月

- ・ 教師、塾講師、会社員など一般人が加害者に
- ・ 日常空間で子どもが被害に遭っている現実を提示
- ・ SNS文化が欲望を増幅させる負の循環を可視化
- ・ 人気アプリが児童ポルノの温床に
- ・ 海外取材で運営者に接触、組織犯罪との関係を追跡
- ・ 巨大プラットフォーム企業の責任を追及
- ・ 子どもを“性の消費対象”にする社会構造を検証
- ・ 新しい報道手法 (潜入×協業×共同取材)

(対策の提言)

- ・ 国による実態把握・捜査体制・法律整備 (日本版DBS含む)
- ・ 企業が責任を負う仕組みの構築

調査報道 新世紀

File6

中国・流出文書

SNSが狙われる

NHKスペシャル

NHKスペシャル「中国・流出文書を追う」 2025年9月22日

(経緯)

情報影響工作・認知戦のテーマは最初からあった。映像化、焦点の当て方の難しさ。たまたま、文書流出を知らせるチームT5のツイートを発見。文書の解析でいけるのでは？

(概要)

- ・中国のセキュリティー企業、I-SOON社から流出した577点の内部文書を解析
- ・中国当局と連携したサイバー・世論工作“認知戦”の実態に迫った
- ・各国の専門家との共同調査で検証
- ・元当局者、関係者への直撃取材で検証



①世論操作ツール

- ・流出文書には、SNSアカウントを乗っ取り、大量の偽アカウントを一括操作できる「世論操作システム」の技術書が含まれていた。
- ・このツールは、中国ナラティブの主張を拡散させたり、批判的な声を封じるために使われていると見られた。
- ・掲載されていたあるアカウントを調べていくと、実際にボットによる不自然な拡散も確認された。
- ・文書の取引先には中国公安などの政府機関が並び、国家レベルでの世論誘導への利用が示唆された。

[徹底分析 中国・流出文書「i-SOON文書」～世論操作ツール～ | NHKニュース](#)

世論分析

Twitter

中国流出

底分析

②サイバー攻撃

- ・文書には、メール侵入・PCハッキング・スマホ遠隔操作などの攻撃ツールが多数含まれ、台湾・チェコを含む20以上の国が標的にされていた痕跡があった。
- ・台湾では人口・道路データが盗まれた可能性があり、チェコでは政府文書の盗難が実際に確認され、ロシアのウクライナ侵攻に関連するEU内部の議論を狙っていた可能性が浮かんた。
- ・i-SOONが使用したIPアドレスは中国政府系ハッカーの過去の攻撃と一致し、中国当局との関係性も強まった。

[徹底分析 中国・流出文書「i-SOON文書」～サイバー攻撃～ | NHKニュース](#)

中国流

底分析

③ハッカー企業の素顔

- ・ I-SOONの上海本社は文書流出直後に「警察に連れて行かれた」とされ無人化。 成都の開発拠点も撤収済みだった。
- ・ OSINT調査や漏洩したチャット記録などからCEOとNo.2幹部のプロフィールなどを特定、公安との取引を主導していた実態が明らかになった。
- ・ また、米国に指名手配された政府系ハッカー集団「APT41」と連携していた可能性も浮上。サイバー攻撃が「政府の需要に合わせたビジネス」として成立していた姿が見えてきた。

中国のセキュリティー企業の「内部文書」が流出。みえてきたのは「サイバー攻撃ビジネス」の実態だった。 | NHKニュース

中国流

底分析

④中国の公安

- ・取引先リストの半数以上が公安で、民間企業の技術を使った監視・言論統制の一端が明らかになった。
- ・新疆ウイグル自治区出身の活動家が、偽アカウント攻撃・公安からの直接電話など海外でも監視対象になっていたことを証言。
- ・公安は国内統制だけでなく、国外にまで“監視網”を拡大していることが見て取れた。

中国のセキュリティー企業の「内部文書」が流出 みてきたのは中国の「公安組織」の実情だった | NHKニュース

中国流出

底分析

⑤ 認知戦

- ・文書には「認知戦」という概念が明記され、中国がSNSを使い“人の思考・行動そのものを変える戦い”を重視していることが示された。
- ・台湾ではボットや偽情報による社会不安の煽動が実際に抗議行動につながった疑いがあり、米国でも社会分断を狙ったフェイクが散発。
- ・中国はオルタナティブSNSなど規制の弱い場を標的に、国際的に認知戦を拡大。専門家は「すでに戦争は始まっている」と警告、世界規模で情報空間の信頼が揺らいでいる現状を指摘した。

中国のセキュリティー企業のもものとされる内部文書が流出。取材でみえてきたのは、認知戦という現実でした。 | NHK ニュース

中国流

ありがとうございました。

NHK報道局 機動展開プロジェクト 葺重龍
kurashige.r-ga@nhk.or.jp